

YASKAWA

YASKAWA ELECTRIC CORPORATION
www.yaskawa.co.jp

YASKAWA

YASKAWA ELECTRIC CORPORATION
CORPORATE PROFILE



これまで100年。そして未来へ。

時代をこえて、ものづくり への情熱は変わらない。

1915



1917年
三相誘導電動機を製品化

安川電機は1915年の創業以来、「電動機（モータ）とその応用」を事業領域に定め、その製品・技術により時代の先端産業を支えてきました。自らの技術をもって事業にあたるため「技術立社」を社是として、事業の基盤である“メカトロニクス*”のコンセプトを世界に先駆けて提唱し、世界一・世界初の革新的な技術・製品の開発にこだわりながら、品質第一の経営を貫いてきました。当社のコア技術は、「モーション制御」・「ロボット技術」・「パワー変換」。メカの動きを精緻に制御する探究から生まれたこれらの技術と製品は、世界中のものづくりの品質と効率の向上に、日々貢献しています。これからも、技術の進化を続け、新たなソリューションで世界の発展に貢献してまいります。

* 「Mechanism（メカニズム）」と「Electronics（エレクトロニクス）」を融合した概念。お客様の機械装置と当社の電機品を融合し、より高い機能を発揮できるようにとの考えから安川電機が1960年代後半に世界に先駆けて提唱した。

2022



2017年
人協働ロボット
MOTOMAN-HC10DT



2021年
ACサーボドライブ
Σ-Xシリーズ



2021年
YRM-Xコントローラ



ACサーボ &
コントローラ



インバータ



ロボット



システム
エンジニアリング



環境・エネルギー機器

CONTENTS

● ビジョン／Vision	03	● CSR／Corporate Social Responsibility	15
● i ³ -Mechatronics	05	● 沿革 & 会社概要／History & Corporate Outline	17
● モーションコントロール／Motion Control	07	● 海外拠点／Global Network	19
● ロボット／Robotics	09	● 国内事業所 & 関連会社	20
● システムエンジニアリング／System Engineering	11	● 工場見学	21
● 研究開発／Research & Development	13	● 会社概要	22

街は、休むことなく発展してゆく。
 どんな未来がそこにはあるんだろう…。

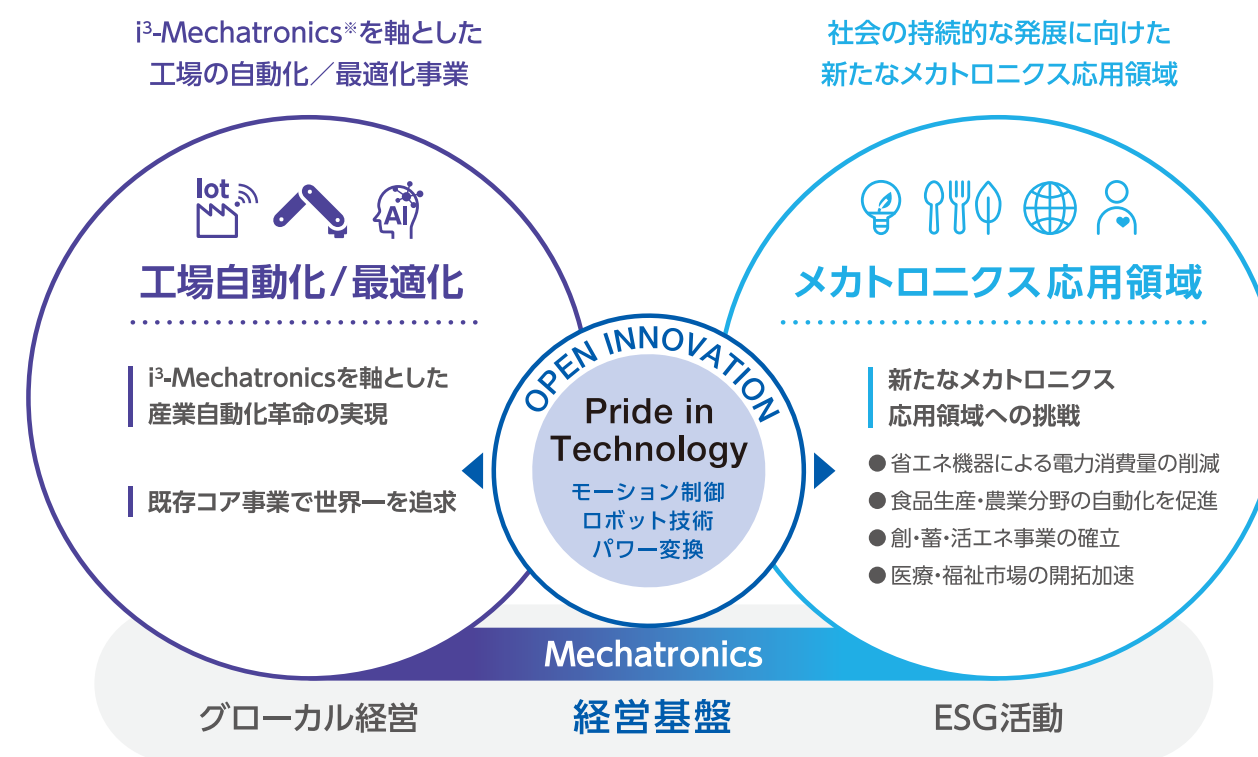
Our Vision

コア技術の進化とオープンイノベーションの融合により、
 社会に対し新たな価値を提供します。

当社は、創立100周年にあたる2015年、私たちを取り巻く環境の劇的な変化をチャンスとして捉え、将来に向けた経営の方向性を示す「2025年ビジョン」を掲げました。2019年には、当社が目指す姿を明確に分かりやすくすることを目的として、「2025年ビジョン」の見直しを行いました。この度の見直しでは、当社が目指す姿を再確認するとともに、メカトロニクスを軸とした「工場自動化・最適化」と「メカトロニクスの応用領域」を事業領域に設定しました。また、社会の持続的な成長と企業価値向上を加速していくためにも、品質重視の経営やリアルタイムなデジタル経営を推進しながら、当社特有の製品提供という事業活動を通じた社会貢献を軸に、「ESG」の観点で取組んでいくテーマを明確にし、積極的に活動していきます。

安川グループの「2025年ビジョン」

コア事業の進化により、お客さまの経営課題の解決に寄与するとともに、メカトロニクス技術を応用した新規分野の拡大により、社会に新たな付加価値を生み出していきます。



※ i³-Mechatronics: 新たな産業自動化革命の実現に対する安川のソリューションコンセプト

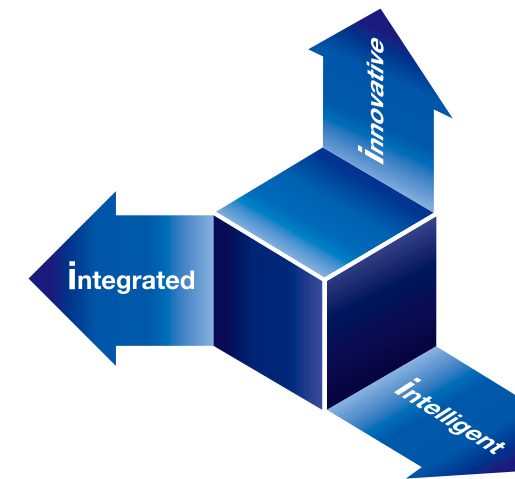
デジタルデータマネジメントから、
新たな産業自動化革命が始まっている。

i³-Mechatronics

アイキューブ メカトロニクス

「3つのi」で
かつてないソリューションを提供します。

限界を超えていく、
立体的ソリューションを。



私たちは、これまでお客様へ提供してきたメカトロニクスの技術と製品を中心とする自動化ソリューションにデジタルデータマネジメントを加えることで、ソリューションコンセプト「i³-Mechatronics(アイキューブメカトロニクス)」を実現し、生産現場からお客様の経営課題の解決に貢献いたします。

i³-Mechatronicsを実現する3つのステップ

ステップ 1 integrated(統合的)

- モータがセンサーとなって生産現場はデータでつながる(見える化)
- コンポーネント(ロボット・サーボ・インバータなど)と工程を繋ぎながら生産現場の自動化を進める
- FAとITを繋ぐ

ステップ 2 intelligent(知的)

- データ活用による分析と学習(ビッグデータ解析・AI)

ステップ 3 innovative(革新的)

- データをもとにフィードバックを行い、生産現場の動きに変えることで生産性を向上

i³-Mechatronicsによって実現されたスマート工場



*1:リアルタイム性が求められるデータ解析とフィードバックを行うための情報処理の領域(工場や生産拠点内など、生産現場に近いエリア)
*2:生産現場の設備や装置のデータをリアルタイムで収集・蓄積・分析することができるソフトウェア

Driving Society

モータを回し続けて100年。

培ってきた技術で産業・社会の発展に貢献します。

世界トップクラスのACサーボとインバータ

モーションコントロール事業は、大きくACサーボとインバータの2つの製品群で構成されています。ACサーボは、高速・高精度に位置を制御することを得意としており、その特性から、高速・高性能な様々な設備や自動機械に適用されています。インバータは、モータの電源周波数を自在に変えることでモータの回転数を制御する装置です。インバータの登場は、工場の生産性を飛躍的にアップさせ、産業・社会の発展・省エネに貢献しています。当社は、モータ制御のリーディングカンパニーとしてACサーボは世界シェアNo.1を保ち続けており、確かな実績でお客さまからの信頼をいただいています。

ACサーボの主な用途

- 半導体・液晶製造装置
- 電子部品実装機
- 工作機械
- 食品・包装機械
- 繊維機械
- ロボット



ACサーボドライブ「Σ-Xシリーズ」
モーションコントローラ「MP3000シリーズ」

インバータの主な用途

- コンベヤ
- ファン・ポンプ
- 空調機器
- エレベータ・エスカレータ
- クレーン



安川インバータシリーズ

インバータ技術を 再生可能エネルギー活用に応用

地球温暖化防止のため、太陽光や風力など再生可能エネルギーの活用は、ますますそのニーズが高まっています。当社はインバータ技術の応用により、太陽光発電用のパワーコンディショナや自動車などの電気駆動システムを製品化し、創エネ・活エネ・蓄エネに向けた取り組みを行っています。



三相絶縁型太陽光発電用パワーコンディショナ
「Enewell-SOL P2H」



EV用モータドライブシステム

停止しているエスカレータに足を載せた。
ベテランドライバーのように、ふんわり動き出した。

Smart Factory

人とロボットが共存・協働する理想の自動化を実現します。

グローバルに活躍の場を広げる産業用ロボット “MOTOMAN(モートマン)”

当社は、1977年に日本で初めて全電気式産業用ロボット“モートマン”を発売して以来、世界の産業用ロボット市場をリードしてきました。現在の主力でもある自動車生産向けのアーク溶接用途から始まり、スポット溶接やハンドリング、組立、塗装、それにクリーンルーム内における液晶・有機ELディスプレイ・半導体製造分野でのハンドリング・搬送など、あらゆる産業分野で活躍しています。近年は、少子高齢化による労働力不足へのソリューションとして、これまで実績の少なかった食品分野など、ロボット適用領域の拡大が進んでいます。



自動車ボディの溶接



ロボットがロボットを作る当社生産工場



食品パッキング用途での適用事例

「人の代わりに作業するロボット」から 「人と共に作業するロボット」へ

ロボットはさらなる高速化や高精度化、複雑な動作への対応や人との共存に向けた安全機能の強化によって、産業用にとどまらず様々な分野に活躍の場を広げています。

2017年に安全柵なしで人と協働して作業することができるロボットを開発しました。家電製品やコンピュータ、通信機器など、今までロボットがあまり導入されていなかった分野においても自動化に貢献します。

注) MOTOMAN-HC10DTは安全機能により安全柵なしのシステム構築が可能ですが、全てのケースにおいてリスクアセスメントを実施する必要があります。



人協働ロボット
MOTOMAN-HC10DT

Secure Lifeline

YASKAWAのシステムエンジニアリング技術が、
私たちの暮らしを24時間支えています。

毎朝、目覚めに飲む一杯の水。
季節問わずに同じ美味しさはなぜ？

水処理プラントなどの公共用設備の 安定稼働を見守っています。

当社は水処理プラント設備や交通インフラ設備など、安定稼働が必須の公共用電気設備を手がけています。一時たりとも止めることのできない上下水道設備には、確かな信頼性だけでなく、環境問題や災害対策などの社会的ニーズを満たすソリューションを提供。省エネ、高度浄水処理、施設の有効活用など多様なニーズに応えるため、最先端のシステムエンジニアリング技術を駆使した新しいシステムを提案・構築します。



下水監視室

高度なシステムエンジニアリング技術で 最適な制御システムを提供します。

当社は長年にわたり、鉄鋼プラント設備などの産業用システム電機品の開発・設計・生産に携わり、豊富な経験を積み重ねてきました。国内で稼働中の全ての高炉に当社の制御装置、ドライブ装置が採用され、また、世界の大型高炉*システムにおいてもトップシェアを誇り、24時間の安定操業を支えています。当社は、高度なシステムエンジニアリング技術と高品質な製品で、信頼性の高い産業システムを提供し、快適な暮らしと豊かな町づくりに貢献しています。

* 容積5,000m³以上



高炉設備

大型風力発電用電機品と太陽光発電用向け製品で、 再生可能エネルギーの有効活用に貢献します。

世界的に地球温暖化対策として再生可能エネルギーの活用が進んでいます。当社は、大型風力発電用発電機およびコンバータを製品化。さらには、低圧から高圧までの大容量ドライブソリューションをラインアップし、新規顧客開拓、船舶市場など新分野への参入による事業拡大を目指しています。また、太陽光発電用パワーコンディションにより、太陽光発電のトータルコスト低減により再生可能エネルギーの主力電源化に貢献しています。



大型風力発電用電機品

XGI1500

その先の技術を編み出すのは、
人の本能なのかもしれない。

Passion for Innovation

革新への挑戦と情熱。

世界を変える高付加価値の技術革新に挑戦し続けています。

当社は、経営理念にある「品質重視の考えに立ち、常に世界に誇る技術を開発、向上させること。」をモットーに、ものづくりを進化させる世界初の技術を生み出し続けてきました。

今年度、お客さまからの要求にスピーディーに対応できる研究開発体制の構築目的に、基礎技術開発、製品設計、評価・分析、生産技術から量産試作までを一貫した研究開発拠点「安川テクノロジーセンタ(YTC)」に集約しました。YTCを中核に、革新的かつ効率的な開発環境を実現するとともに、外部との技術連携によるオープンイノベーションを図り、世界初・世界一にこだわった製品開発に邁進しています。

YTC Concept YTCコンセプト

安川グループ全体とオープンイノベーションにより、
お客様が勝てる製品をタイムリーに開発できる技術集約拠点

integrated
開発プロセスの統合

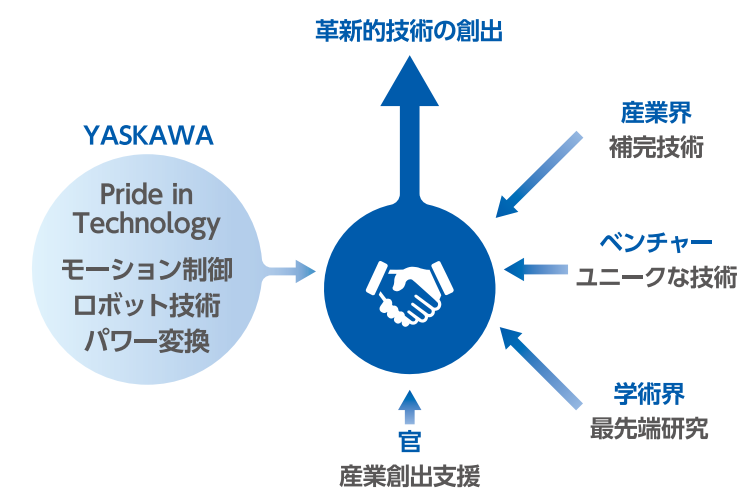
安川グループ全体の技術を集約し、基礎技術から量産試作まで、生産技術を含めて一体開発する

intelligent
知の集約と創造

市場情報も含めて、他社、自社技術の強み弱みをタイムリーに的確に共有し、勝てる製品を創造する

innovative
革新的技術の創出

オープンイノベーションの推進により飛躍的な技術革新を興す



当社が目指すオープンイノベーション



動物や植物のように、
会社もこの星で生きる仲間なのかもしれない。

Action for Society

持続可能な社会の実現のために。

持
続
可
能

サステナビリティ

安川グループは、お客さまやお取引先、当社が事業活動を展開する国や地域、株主や投資家の皆さま、そして従業員等あらゆるステークホルダーの信頼に応えます。また、「事業の遂行を通じて、広く社会の発展、人類の福祉に貢献する」とした経営理念の実践により、持続可能な経済・社会の発展に寄与し、持続可能な企業価値向上を図ります。

サステナビリティ方針

私たちは、安川グループの経営理念である「事業の遂行を通じて広く社会の発展、人類の福祉に貢献すること」を基本的な考え方として、その実践を通じて持続可能な社会の実現と企業価値の向上に努めます。

- 1.最先端のメカトロニクス技術によるイノベーション創出で、お客さまをはじめ社会への価値創造に貢献します。
- 2.世界中のステークホルダーとの対話と連携を通じ、公正かつ透明性の高い信頼ある経営を実現します。
- 3.世界共通の目標であるSDGsの達成を目指し、グローバルでの社会的課題の解決に取り組みます。

サステナビリティ課題・目標

サステナビリティ方針に基づき、持続的に成長するための重要課題として、「事業を通じた社会価値の創造と社会課題の解決」と「サステナブルな事業／社会に寄与する経営基盤の強化」の2つを軸としたサステナビリティ課題・目標(マテリアリティ)を特定しました。また、これらマテリアリティに関する取り組みについて、当社に新たに設置したサステナビリティ委員会において進捗を管理してまいります。

事業を通じた社会価値の創造と社会的課題の解決

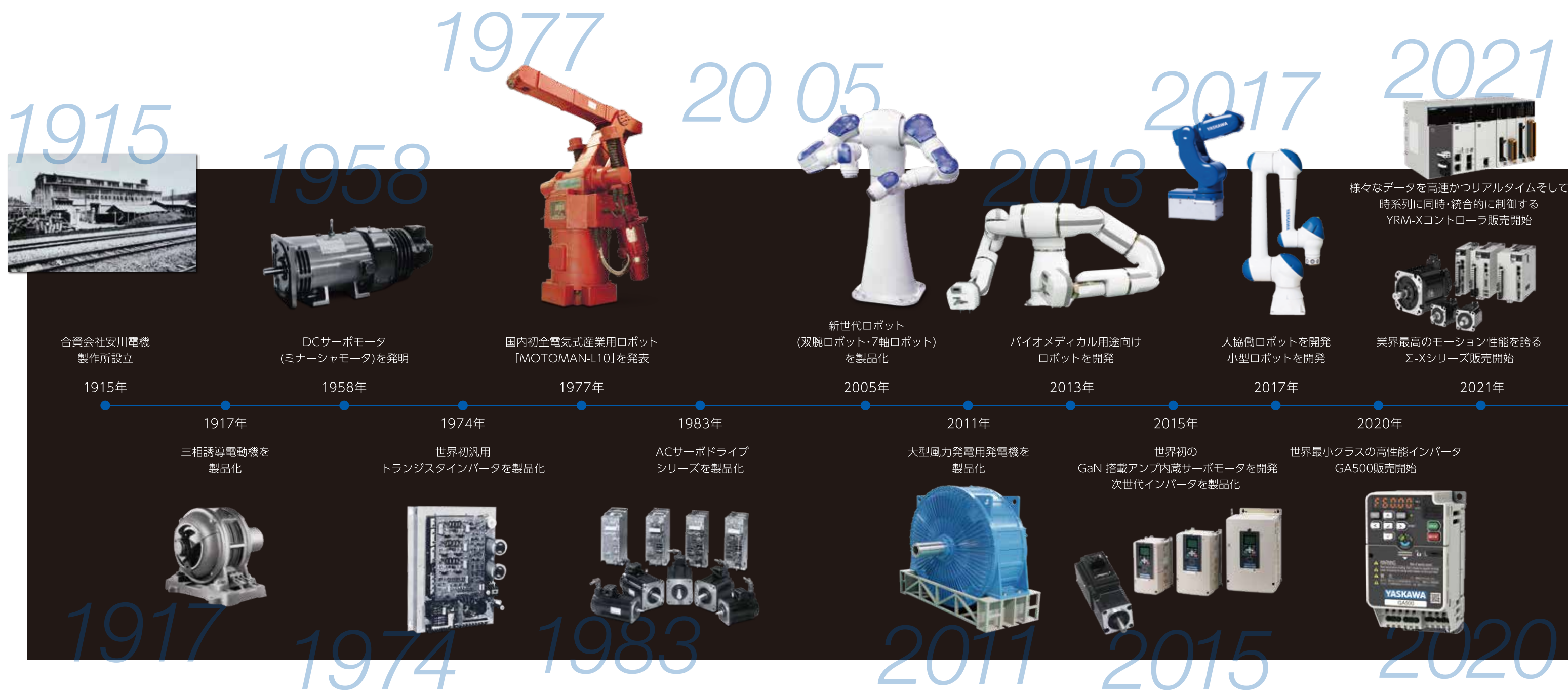
- ① "1³-Mechatronics"を通じた産業自動化革命の実現 
- ② クリーンな社会インフラ構築と安全・快適な暮らしの基盤づくり    
- ③ オープンイノベーションを通じた新たな技術・事業領域の開拓 

サステナブルな事業／社会に寄与する経営基盤の強化

- ④ サステナブルな生産性の高いものづくり   
 - ・最先端ものづくりの導入
 - ・製品の安全・品質向上
 - ・グリーンプロセスを通じた温室効果ガスの排出削減
 - ・サステナブルなサプライチェーンの構築
- ⑤ 働きがいのある職場づくりと人材育成    
 - ・ダイバーシティとインクルージョン
 - ・労働安全性
 - ・地域社会貢献
 - ・人材育成
 - ・人権と労働慣行
- ⑥ 公正かつ透明性の高いガバナンス体制 
 - ・コーポレートガバナンス・コードを活用した"攻め"のガバナンス体制の強化
 - ・コンプライアンス強化
 - ・情報セキュリティの強化

DNA of YASKAWA

創業の精神を受け継ぎ、「モータとその応用」を軸に
つねに最先端の技術と製品を開発。



Global Network

世界に広がるYASKAWA。

YASKAWAのビジネス拠点は世界30カ国、生産拠点は13カ国に広がっています。(日本含む)

世界のグループ会社やサービス拠点を結び、お客様のグローバルビジネスを強力に支援。

エリア密着型のきめ細やかなサポートを行っています。

ヨーロッパ



YASKAWA EUROPE GmbH

Germany

- YASKAWA EUROPE GmbH

Sweden

- YASKAWA NORDIC AB

U.K.

- YASKAWA ELECTRIC UK LTD.
- YASKAWA UK LTD.

Italy

- YASKAWA ITALIA S.R.L.

France

- YASKAWA FRANCE SAS

Spain

- YASKAWA IBERICA S.L.

Finland

- YASKAWA FINLAND OY
- THE SWITCH ENGINEERING OY

Norway

- THE SWITCH MARINE DRIVE NORWAY AS

Netherlands

- YASKAWA BENELUX BV

Slovenia

- YASKAWA EUROPE ROBOTICS D.O.O.
- YASKAWA SLOVENIJA D.O.O.
- YASKAWA RISTRO D.O.O.

Czech Republic

- YASKAWA CZECH S.R.O.

Poland

- YASKAWA POLSKA SP. ZO. O.

北アメリカ



YASKAWA AMERICA, Inc.

U.S.A.

- YASKAWA AMERICA, INC.
- SOLECTRIA RENEWABLES, LLC

Canada

- YASKAWA CANADA INC.

Mexico

- YASKAWA MEXICO S.A. DE C.V.

南アメリカ

Brazil

- YASKAWA ELETRICO DO BRASIL LTDA.
- MOTOMAN ROBOTICA DO BRASIL, LTDA.

中東・アフリカ

Israel

- YASKAWA EUROPE TECHNOLOGY LTD.

Turkey

- YASKAWA TURKEY ELEKTRIK TICARET LTD. STI.

South Africa

- YASKAWA SOUTHERN AFRICA (PTY) LTD.

アジア・パシフィック



YASKAWA ELECTRIC (CHINA) CO., LTD.

China

- YASKAWA ELECTRIC (CHINA) CO., LTD.
- SHANGHAI YASKAWA DRIVE CO., LTD.
- YASKAWA TSUSHO(SHANGHAI) CO., LTD.
- YASKAWA ELECTRIC (SHENYANG) CO., LTD.
- YASKAWA SHOUGANG ROBOT CO., LTD.
- YASKAWA (CHINA) ROBOTICS CO., LTD.

Korea

- YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION

Taiwan

- YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION

Singapore

- YASKAWA ASIA PACIFIC PTE. LTD.

Thailand

- YASKAWA ELECTRIC (THAILAND) CO., LTD.

Indonesia

- PT. YASKAWA ELECTRIC INDONESIA

Vietnam

- YASKAWA ELECTRIC VIETNAM CO., LTD.

Malaysia

- YASKAWA MALAYSIA SDN . BHD.

India

- YASKAWA INDIA PRIVATE LIMITED

Network in Japan

技術と信頼で応えるグループ力。

国内に2つの開発研究拠点、5つの生産拠点を設けて

フレキシブルにお客様ニーズにお応えしています。

国内全16拠点の支店、営業所とグループ企業や各サービス拠点のネットワークで国内を網羅して、ビジネスを強力に支援しています。

九州



本社

- 本社(ロボット村)
- 八幡西事業所 (ロボット工場/安川ロボットセンタ/安川テクノロジーセンタ)
- 八幡東事業所(モーションコントロール工場/モータ工場)
- 行橋事業所 (インバータ工場/システムエンジニアリング工場)
- 中間事業所(ロボット工場)
- 九州支店
- 熊本営業所
- 九州サービスセンタ
- 中間サービス営業所
- 宮田サービス営業所
- 苅田サービス営業所
- 熊本サービス営業所

中部

- 中部支店/中部ロボットセンタ
- 長野営業所
- 浜松営業所
- 名古屋営業所
- 北陸営業所
- 中部サービスセンタ
- 鈴鹿サービス営業所
- 浜松サービス営業所

北海道

- 北海道サービス営業所

東北

- 東北営業所
- 岩手サービス営業所
- 仙台サービス営業所
- 鶴岡サービス営業所
- 福島サービス営業所

関東

- つくば研究所
- 入間事業所 (モーションコントロール工場/安川ソリューションファクトリ)
- 東京支店
- 関東ロボットセンタ/埼玉営業所
- 千葉営業所
- 横浜営業所
- 八王子営業所
- 関東サービスセンタ
- 太田サービス営業所
- 横浜サービス営業所

近畿

- 大阪支店
- 京滋営業所
- 関西サービスセンタ
- 滋賀サービス営業所

中国

- 中国営業所
- 岡山サービス営業所
- 広島サービス営業所

国内グループ会社

- 安川オートメーション・ドライブ株式会社
- 株式会社安川メカトロック
- 末松九機株式会社
- 株式会社FAMS
- 株式会社エイアイキューブ
- ロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社
- 株式会社ベストタクト・ソリューションズ
- 安川コントロール株式会社
- 株式会社安川ロジステック
- 安川マニファクチャリング株式会社
- 株式会社ドーエイ
- 安川オピマス株式会社

Factory Tour

見学のご案内

見学のご案内

安川電機は、ロボット村や製品の製造工程をご覧いただける工場の見学を受け付けています。

ロボット村 ー北九州市(本社)

安川電機は、1977年に国内初の全電気式産業用ロボット「MOTOMAN(モートマン)」を開発しました。以来、溶接・組立て・塗装・ハンドリングなどの作業を自動化するロボットを次々に開発し、国内外の産業用ロボット市場をリードしてきました。

ロボット村見学では、「ロボットがロボットを作る工場」^(※1)に加え『ロボットの技術』や『ものづくりの魅力』をお伝えする「安川電機みらい館」や当社がこれまで開発してきた製品と創業者を含め草創期を支えた安川家の軌跡を紹介する「安川電機歴史館」^(※2)も見学いただけます。



安川電機みらい館



ロボット第1工場

中・大型産業用ロボット組み立て工場 ー福岡県中間市

中間事業所では、安川電機の中・大型一般産業用ロボットの加工部品から組立てまでを一貫生産しています。

見学では、中間第3工場^(※1)をご案内します。



中間第3工場

(※1) 当日の生産状況により稼働していない場合もございます。

(※2) 「安川電機みらい館」と「安川電機歴史館」は展示施設です。

インバータ工場 ー福岡県行橋市

インバータ工場の見学では、ロボットによるインバータの自動製造ラインなどをご観いただけます。



インバータ工場

中部ロボットセンタ ー愛知県みよし市

「CSプラザ」では、ロボットを使用した様々なデモンストレーションをご観いただけます。



中部ロボットセンタ

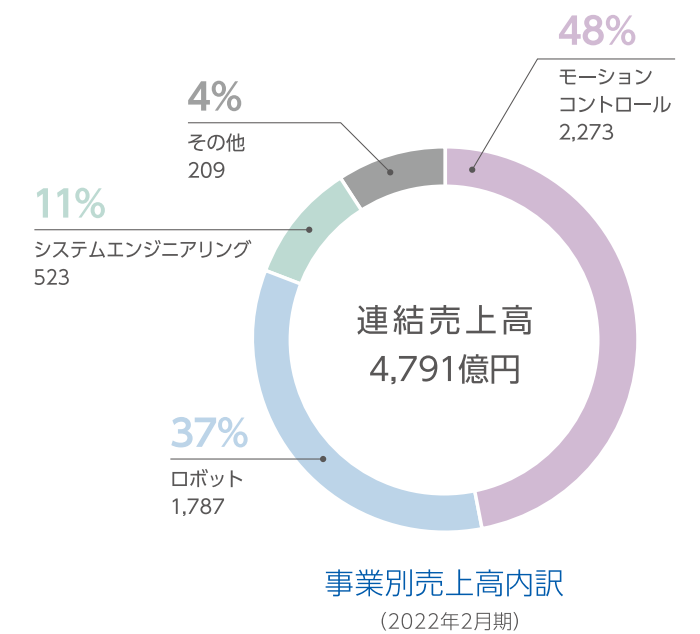
Company's Outline

会社概要

会社概要

(2022年3月1日現在)

会社名	株式会社 安川電機 YASKAWA Electric Corporation
創立	1915年(大正4年)7月16日
本社所在地	〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号 TEL. 093-645-8801 FAX. 093-645-8831
代表者	代表取締役会長兼社長 小笠原 浩
資本金	306億円
発行済株式総数	266,690千株
株主数	45,585名
従業員数	連結14,880名(臨時従業員含む)
売上高	連結 4,791億円 (2022年2月期)



役員

(2022年5月26日現在)

代表取締役会長兼社長 小笠原 浩	取締役 監査等委員(常勤) 中山 裕二	上席執行役員 Michael Stephen Knappek	執行役員 大倉 正彦
代表取締役専務執行役員 村上 周二	取締役 監査等委員(常勤) 塚畑 浩一	上席執行役員 中野 純一	執行役員 大塚 丈徳
代表取締役専務執行役員 小川 昌寛	社外取締役 監査等委員 佐々木 順子	上席執行役員 陣内 信朗	執行役員 筒井 幸雄
取締役 常務執行役員 南 善勝	社外取締役 監査等委員 塚本 英巨	上席執行役員 上山 顕治	執行役員 林田 歩
取締役 常務執行役員 熊谷 彰	社外取締役 監査等委員 小池 利和	上席執行役員 Bruno Schnekenburger	執行役員 樋口 充章
取締役 上席執行役員 森川 泰彦	社外取締役 監査等委員 松橋 香里	上席執行役員 浦川 明典	執行役員 松谷 龍太
社外取締役 加藤 雄一郎		上席執行役員 山田 達哉	執行役員 水谷 春林
		上席執行役員 高田 浩志	執行役員 一木 靖司
			執行役員 岡久 学
			執行役員 椎名 アルバート
			執行役員 荒木 伸弥
			執行役員 下池 正一郎